

見学会のご案内

東京建築カレッジの授業を見学しよう！

9月26日(土)「木造軸組実習」(江東実習場)

カレッジ通信

編集・発行
東京建築カレッジ

授業見学
大歓迎！

TEL 03
(5950)
1771



様目導
3人指
から大
の幸生
授葉(第
業千10
昨員期)

日本の建築の基本である木造建築を中心に建築の基礎を学ぶ学校。東京建築カレッジの教育実践は業界内外から高く評価されています。共に成長しようと呼びかけあう仲間との出会いも大きな魅力です。値打ちを多くの方に知っていただくために、本校は授業・学校見学を歓迎します。見学希望の方はお気軽にご連絡ください。

なぜ大工技術から

東京建築カレッジ(以下カレッジ)は大工だけを養成する学校ではありません。

ませんが、授業(訓練)の約半分の実技実習は大工技術を中心に学んでいきます。建築の設計・施工を全体的に統括できる人(棟梁)という人(棟梁)をめざすためには、大工技術の基礎学習が重要、という考え方に立つからです。大工以外の職種、設計や施工管理、他の専門工事職に従事する研修生も手道具の使い方、墨付け・手刻みを重視した授業を受けます。プレカット材の組み立てばかりの今の現場では体験できないことが多く、「カレッジでないと教えられる基礎教育がある」と研修生派遣事業主は評



軸組み完成後の記念写真(第24期生) 撮影:金子英夫(上写真も)

価しています。

柱と梁で構造を

木造建築の方法にはいくつかありますが、垂直

材の柱と横架材の梁(はり)を組み上げて構造をつくる方法(木造軸組工法)が日本では主流です。カレッジでは、継手や仕口の加工を一通り習った後に、小屋づくり挑戦します。右写真。柱や梁などの位置を示す平面図(伏図)を「板図」(いたず)に落とし込むところから授業は始まります。建物の基本構造を図面で

参加希望の方は事前にご連絡ください



江東実習場

しつかり理解した後に、班に分かれて、材料の墨付け・加工、そして建方と進み、木造軸組工法の流れを体感します。

実習棟実習へ



学校公式
サイトへの
アクセス

この小屋づくりで流れをつかみ、前期の1年生が建てた2階建ての実習棟の解体実習(10月17・24日)の後、いよいよ実習棟実習に入っていきます。その建方・上棟実習は1月22・23日の予定で、こちらも見学申し込みを受け付けています。

見学可能時間は、午後1時から3時です。

